

【面接官の印象】

1. 外国人面接官の印象

30 歳ぐらい。白人男性。まじめそうな方。服装はラフな感じで、眼鏡をかけていた。長身。

2. 通訳ガイド

30 代女性。こちらもまじめそうな方。スーツ姿。

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

日本における城では、その天守は戦闘用のものです。ですから、城主やその家来はごてんと呼ばれる別の場所に住んでいました。また天守は城主の権威を表わすシンボルという意味もありました。

《自分の解答》

In Japanese castle, the donjon is for fighting. So the lord and his servants lived in the different place called “Goten”. And also donjon means the power of the lord.

4. 2 分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- ① 日本の自然災害について
- ② 古墳について
- ③ 風鈴について

《選択したトピック》

『日本の自然災害について』

《発表した内容》

3 枚のカードを NS から手渡される。TG から「30 秒間の間に準備をして下さい。メモをとってもかまいません。」と説明を受ける。30 秒後、TG から「それでは、はじめてください。」との合図。

I would like to talk about natural disasters in Japan. . . . で話し始め、「日本は環太平洋造山帯にあるので、地雷、津波、地すべり、台風などの自然災害にあってきた。最近で、もとも記憶にあるのは、東日本大震災で、約 18,000 人の人が亡くなり、今でも行方不明の人がいる。そして、400,000 戸が壊れたりダメージをうけた。さらに事態を悪くしたのは、福島県の原子力発電所がダメージを受け、周辺に住む人々が、避難しなければならなくなった。今も temporary house に住んでいる人もいて、体力的、精神的にも疲れはてている。私たちは、この災害のことを忘れるべきではない」という内容のことを話した。

5. 質疑応答について

NS	災害のためには、どんな準備・用意をしておくべきですか？
I	「水や食料を用意しておく」この後、何を話したらいいか迷ったので、自分のことについて話す。「私の子供は幼稚園に通っているが、幼稚園でも、水と食料、おむつまで準備している。」
NS	政府は、災害に対して、どんなことをしているか？
I	政府や役所は、避難場所を設定している。だから家族は、災害にあった後、その避難場所で再開できる。
NS	災害は、日本人の文化面でどのような影響を与えたか？
I	災害から復興するには、人々が協力していくことが重要であった。だから、日本時は、 group-oriented people だ。そうでなければ、日本人は生き残ることができなかった。
NS	災害により、日本人は、集団行動をとるようになったということですね。ありがとう。
TG	では、これで終わりです。
I	ありがとうございました。 Thank you と言って退室。

6. 試験を終えての感想

まずトピックを選ぶのに、「自然災害」と「風鈴」かで迷うが、風鈴は質疑応答で話がふくらまないような気がしたので、最終的に「自然災害」を選択。

プレゼンは、「自然災害」というより、東日本大震災のことをメインにしゃべってしまった。

NSは、あまり笑顔を見せない人だったので、質問も、とてもまじめな質問だった。しかし、私の話を聞き入ってくれているようだった。今思うと、時制などがめちゃくちゃだったような気もする。

メモ用紙とペンが置いてあったが、ペンはインクが出なかったことがあると聞いたことがあったので、自分のお気に入りのペンを持参した。「使ってもいいですか？」とTGに聞くと、一瞬げんな顔をされたが、「いいですよ。」と受け入れてもらった。

二次対策コースを受講しましたが、マイケル・ベアード先生の授業はとても楽しく、プレゼンする力も身につけることができましたと思います。合否にかかわらず、とてもいい体験をさせてもらったと思います。ありがとうございました。